



神町中学校では1週間ぶりに自転車通学が解禁され、多くの生徒が自転車で登校してきた。2年4組安全委員の滝口颯太くんは、

「自転車で学校に来ると時間も短縮され、やっぱりいいです。でも、それは安全に自転車に乗るという前提があります。これからも、自分の安全を守るためにルールを守って自転車に乗っていきたい。」と話していました。夕方、暗くなるのも早くなっています。十分注意して乗ってください。雪が降るまで、停止にならないことを願います。

解禁 自転車通学

10月8日（木）、神町中学校生徒会選挙の立候補が締め切られた。今年は生徒会長をはじめ、10の役職に総勢28人が立候補した。特に生活委員長と保健委員長には5人ずつ立候補するという、近年まれにみる激戦となった。これは神中の2年生が、「新たな時代を自分たちが創っていくんだ」という熱い思いの表れではないかと夢色通信社では分析している。選挙活動は10月22日（木）から行われ、10月29日（木）に立会演説会が行われ、その後投票が行われる。



山形新聞 少女少女の声（10月14日より）

「不条理」をなくしたい 3年 鈴木 愛梨

私は平和学習で具志堅さんの話を聞いて、考え方が少し変わったと思います。私は今までいじめがあることは仕方ないと思って過ごしてきました。人によって考え方が違うし、いじめられている人に非があることもあったからです。講話を聞いて具志堅さんから、当たり前のことを改めて教えてもらいました。

具志堅さんは講話の中で「強い者が弱い者をいじめている時こそ、批判をしなければなりません」と言っていました。この言葉を聞いて、悪いことは悪いと声をあげること、今まで当たり前だと思っていたことでも間違っていることは見過ごさないことが大切だと思いました。これらのことを具志堅さんは「不条理」と言っていますが、この「不条理」をなくしていくことが、みんなが平等で平和に生きることにつながっていくのだと思いました。私たちはこれから「不条理」をなくし、戦争の悲劇を繰り返さないようにしなければなりません。戦争を教科書だけの知識として伝えるのではなく、実際に体験したお年寄りの話を聞き、私たちが年寄りになった時に次の世代に伝えられるようにすることが大切です。

戦争が起きた歴史はなくなりません。これから先の時代、この悲しい戦争を2度と起こさないように、不条理がなくなることが必要です。そして誰もが平和な世界に感謝して生きていけるようにしたいです。